

自然体験イベント事故情報

事故名	伐採木で首と肩を打撲	被災者	年齢 20歳台	性別 女
事故状況	発生日時 2019年7月20日(土)14時5分頃			
	発生場所 公園・ <u>里山</u> ・海・川・溪谷・その他()			
	<p>事故状況(何をして、どのように、どうなった)</p> <p>クリ園の中の斜面地の雑木処理のための伐採をしている時。手鋸を使ってウワミズザクラ(径20cm程)の受け口を作り、追い口を切り進めていたところ急に幹が裂けてバウンドするような形で斜面後方へ倒れ落ちた。その時斜面後方1.5m位のところにいた女性のヘルメットに材があたり、左首と肩の上に倒れ掛かった。女性は右側へ倒れた。すぐに駆け寄り材を持ち上げて助け出した。意識はあり傷等は特に見当たらなかった。左の耳の上側が少し赤くなっていた。しばらくして場所を移動してもらったが自力で立ち上がり、歩行も支障なくスムーズであった。</p>			
事故処置	誰が、どのように処置			
	<p>患部を冷やした方が良くと考え保冷剤や湿布薬を使用した。</p> <p>その後、基地にて水分補給等しばらく休憩したあと、スタッフ運転の車に被災者と他のスタッフが乗り込み近くの病院へ直行した。</p>			
	<p>ケガの部位・症状</p> <p>頸椎打撲 首と肩に痛み</p> <p>推定原因と再発防止策は(分かる範囲で記入下さい)</p> <p>手作業によりゆっくり進めていたが途中で幹が避けるというアクシデントが起こり振じれるように切り口が斜面上方へ落ちた。材の中心部は切り株側の裂けた材に残っていた。追い口を中心部まで切り進んでなくとも広葉樹の場合この様な裂け方をすることがある。広葉樹の伐採には慎重の上にもさらに注意をして作業する必要がある。今後は作業をする人以外は材に近寄らない様に注意喚起する。</p>			
総務部コメント	<p>○事故処置、被災者への対応は十分にされている、お疲れさまです。</p> <p>○里山グループ安全会議(2019.7.30)で本事故への意見交換を行った。</p> <p>次の意見に対して、ご検討のうえ再発防止策を講じてください。</p> <p>○参加者が事故にあった時の必要情報(血液型・生年月日・連絡先など)を参加時点で把握しておくべき。</p> <p>○初心者に対して、十分な実習教育のあと作業に入るようにすべき。</p> <p>○伐採では木がどこに倒れるか分からないのでロープを使い安全にすべき。</p> <p>加えて</p> <p>○作業員以外のメンバーは伐採木の周辺より離れること。</p> <p>○伐採木は裂けることもあるのでKYKに含めること。</p>			